OKI

CrosCore

取扱説明書

多機能電話機編

・本書は製品を安全にご使用いただくための注意事項が書かれています。
ご使用になる前に必ずお読みください。

・ご使用になる間は、本書を製品の近くに保管していつでもご活用できる
ようにしてください。

1062BT | 133-1 | D
4438060900

このたびは、「CrosCore」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。

CrosCore では、用途と規模に応じて、以下の 3 つの機種を用意しております。

	CrosCore　S タイプ	CrosCore　M タイプ	CrosCore　L タイプ
総ポート 物理ポート数（論理ポート数）	22（26）	46（82）	384（768）
適用回線	デジタル回線（INS ネット 64） アナログ回線 IP 電話回線 SIP 専用線	デジタル回線（INS ネット 64） アナログ回線 IP 電話回線 SIP 専用線	デジタル回線（INS ネット 64/1500） アナログ回線 IP 電話回線 SIP 専用線 OD 専用線
総外線 物理ポート数（論理ポート数）	4（16）	12（44）	192（192）
総内線 物理ポート数（論理ポート数）	18（26）	34（82）	288（768）

※本書では、CrosCore を「主装置」と記載しています。
※総外線の論理ポート数は、IP 電話回線と SIP 専用線を含んだ外線の合計数です。
※総内線の論理ポート数は、IP 内線とデジタルコードレス電話機（UM）内線を含んだ内線の合計数です。

ご注意

- 本製品は、電話番号に代表される、個人情報の保存または保持可能な商品です。設置工事、保守、廃棄、譲渡および返却される際は、本製品内に保存または保持された個人情報を消去する必要があります。
- ご使用の際は、本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品は、日本国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment is designed for in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本製品を分解したり改造することは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 本製品を設置するための配線工事および修理は、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故の元になりますので、絶対におやめください。
- 本書の内容につきましては、万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、販売店にお申しつけください。
- 本書の内容、外観については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。
- その他、本書に記載されている会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

免責事項

- 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本装置の使用または使用不能から生じる付随的な損害（記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断、通信機会の喪失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 電話サービスを利用することによる金銭上の損害、および逸失利益について第三者からのいかなる請求についても当社はその責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

安全にお使いいただくために

必ずお読みください

本書には、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の説明

表　示	説　明
⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷（※ 1）を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷（※ 1）を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害（※ 2）を負う可能性が想定される内容および物的損害（※ 3）のみの発生が想定される内容を示しています。

※ 1：　重傷とは失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※ 2：　傷害とは治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※ 3：　物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

表　示	説　明
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。 この記号のついた警告・注意文が指定する行為は絶対に行わないでください。
強制	強制（必ずすること）を示します。 この記号のついた警告・注意文が指定する行為は必ず実施してください。

⚠ 危険	
強制	**電池パックはプラス⊕・マイナス⊖の向きが決められています。コードレス電話機に接続するときは、プラス⊕、マイナス⊖の向きを確かめてください** 電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。
禁止	**電池パックを単体では充電しないでください** 電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。
禁止	**電池パックは、指定の電話機以外には使用しないでください** 電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。
禁止 **分解禁止**	**電池パックを分解・改造しないでください** 電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。
強制	**電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください** 電池パックの液もれ・発熱・破壊により、火災・感電・やけど・けがの原因となります。 ・火の中に投入したり、加熱しない ・直接はんだ付けしない ・プラス⊕・マイナス⊖を針金などの金属類で接触させない ・水・雨水・海水・薬品などにつけたり、ぬらさない ・ネックレスなどの金属製品と一緒に持ち運んだり、保管しない ・針を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたり、投げつけない
強制	**電池パック内部の液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください**
強制	**不要になったリチウムイオン電池を廃棄するときは、ショート防止のために、電極に絶縁テープを貼り、地方自治体の条例や規則に従うようにしてください** 電極がショートすると、破裂、発火の原因となります。

⚠ 警告	
禁止	**取付位置を変更しないでください** 火災・感電・けがの原因となります。 配線工事を行うには資格が必要です。販売店にご相談ください。
禁止 **電源プラグを抜く**	**主装置の通風孔や電話機の開口部などから、金属類を入れないでください** 火災・感電・故障の原因となります。万一、金属類が内部に入ったときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
禁止 **ぬれ手禁止**	**主装置をぬれた手で操作したり、ぬれた布でふかないでください** 感電の原因となります。
禁止 **電源プラグを抜く**	**万一、内部に水などが入った場合、そのまま使用しないでください** すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
禁止 **電源プラグを抜く**	**主装置、電話機の上や近くに液体の入った容器（花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・小さな金属など）を置かないでください** 液体がこぼれて内部に入ると、火災・感電・故障の原因となります。万一、液体が内部に入ったときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
禁止 **接触禁止**	**雷が鳴り出したら、主装置・電源コードなどに触れないでください** 感電の原因となります。
禁止 **電源プラグを抜く**	**万一、煙が出ている、異常音がする、変なにおいがするなどの異常状態が発生した場合、そのまま使用しないでください** すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。 そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。なお、お客様による修理は危険ですからおやめください。
禁止	**一般のゴミとして放置しないでください** 火災・けがの原因となります。 廃棄するときは、販売店にご相談ください。
禁止	**AC100V ± 10V の商用電源以外は、絶対に使用しないでください** 火災・感電・故障の原因となります。
禁止	**内線・外線の各端子をショートさせないでください** 火災・故障の原因となります。
強制	**電源プラグを電源コンセントへ直接接続してください** 延長コードは過熱・発火の危険があるので使わないでください。

⚠ 警告	
禁止	**テーブルタップや分岐コンセント・分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください** 火災・過熱の原因となります。
禁止 電源プラグを抜く	**主装置、電話機を傾いた台の上や、振動、衝撃の多いところに置かないでください** 落下・転倒により、けがの原因となります。万一、落下・転倒により破損したときは、主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください 。 そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
禁止 ぬれ手禁止	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください** 感電・けがの原因となります。
禁止 火気禁止	**主装置、電話機に火の気を近づけたり、加熱しないでください** 鉛蓄電池(バッテリー)が液もれ・発熱・破裂し、火災・けがの原因となります。
禁止 電源プラグを抜く	**電源コードおよび電話機コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工しないでください** コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだ場合は(芯線の露出、断線など)主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店に交換をご依頼ください。
禁止	**工事者以外は、装置の蓋などを開けないでください** 感電、故障の原因となります。
強制	**電源プラグは電源コンセントの奥までしっかり差し込んでください** 電源プラグの刃に、金属などが触れると火災・感電・故障の原因となります。
強制	**電源プラグの刃および刃の取付面に、ほこりが付着している場合は、よくふいてください** 火災の原因となります。
強制 電源プラグを抜く	**主装置に鉛蓄電池(バッテリー)を使用する場合、寿命は(使用頻度にもよりますが)設置後 2 ～ 3 年(長寿命バッテリーの場合は 6 年)です。交換時期になりましたら、販売店にまとめて交換をご依頼ください** 寿命が過ぎた鉛蓄電池(バッテリー)を使用し続けるとバッテリー内部の液もれの原因となります。万一、バッテリー内部からもれた液が皮膚や衣服についたときは、すぐきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれることがあります。また、バッテリー内部の液もれが発生したときは、主装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
禁止	**機器で指定されていないバッテリーは使用しないでください。また、新しいバッテリーと古いバッテリーと混ぜての使用はしないでください** 電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
禁止 分解禁止	**分解・改造・修理しないでください** 火災・感電・故障の原因となります。 電話機の改造は法令違反になります。故障のときは、販売店に修理をご依頼ください。

⚠ 警告	
強制 電源プラグを抜く	**万一異物が、本装置および電話機の内部に入った場合は、まず本装置の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店にご連絡ください** そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。特に小さなお子様のいる家庭ではご注意ください。
強制	**主装置の内部の点検・修理は、販売店に依頼してください**
禁止	**歩行中に電話機を操作したり見たりしないでください** 転倒・交通事故などの原因となります。
禁止	**電話機を電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください** 火災・故障の原因となります。
禁止	**引火性ガスが発生する場所では、電話機を絶対に充電しないでください** 火災の原因となります。
禁止 電源プラグを抜く	**万一、充電器が落下したり、破損した場合は、そのまま使用しないでください** 必ず AC アダプタを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に至急ご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
禁止	**本装置を医療用電気機器（ペースメーカーなど）の近くで使用しないでください** 電波により医療用電気機器に影響を与えることがあります。
禁止	**高精度な制御や、微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しないでください** 電子機器が誤動作するなど影響が出る可能性があります。また、使用を制限された場所での使用はお控えください。 （ご注意いただきたい電子機器の例：補聴器・医療用電子機器・ペースメーカー・火災報知機・自動ドア・自動制御機器など）
禁止	**充電器の開口部から金属類を入れないでください** 万一、内部に異物が入った場合は、すぐに AC アダプタを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に至急ご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
禁止	**充電端子を金属でショートさせないでください** 火災・故障の原因となります。
禁止	**充電端子に水滴のついたまま充電しないでください** 火災・故障の原因となります。
強制	**電池パックが液もれしたり、異臭がするときは、すぐに火気から遠ざけてください**
強制	**所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、すぐに充電をやめて、お買い求めの販売店にご連絡ください**
禁止 ぬれ手禁止	**ぬれた手で電池パックを交換したり、ぬれた手で充電器の AC アダプタを抜き差ししないでください** 感電の原因となります。
禁止	**付属の AC アダプタ、充電器以外を使用しないでください** 火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
強制	**AC アダプタ、充電器は取扱説明書に指定の電源コンセントに接続してください** それ以外の電源コンセントに接続すると火災・感電・故障の原因となります。

⚠ 警告	
強制	**電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください**
禁止	**LAN ポートや PC ポートに接続したネットワークケーブルを電源コンセント、アナログ電話回線、デジタル電話回線（ISDN）、PBX デジタル電話回線には接続しないでください** 火災・感電・故障の原因となります。

⚠ 注意	
強制	**必ずアースを接続してください** アース接続をしないで使用すると感電・故障の原因となることがあります。
強制	**主装置や電話機を壁掛けに変更するときは、販売店にご相談ください** 配線工事を行うには資格が必要です。また、主装置や電話機の重みに耐える専用壁掛け金具を使用して適正な取り付けが必要です。
禁止	**電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください** 電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。
禁止	**振動・衝撃の多い場所に置かないでください** 火災・感電・故障の原因となります。また落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
禁止	**主装置や電話機を上下逆さまの状態で設置しないでください** 火災・感電・故障の原因となることがあります。
禁止	**主装置、電話機の上に乗ったり、座ったりしないでください** けがや故障の原因となることがあります。
禁止	**直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください** 内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
禁止	**湿気やほこりの多い場所、潮風、腐食性ガスのかかる場所、化学反応を起こすような場所（化学実験室など）には置かないでください** 火災・感電・故障の原因となることがあります。
禁止	**風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください** 火災・感電・故障の原因となることがあります。
禁止	**調理台のそばなど油煙や湯気が当たるような場所、ほこりが多い場所に置かないでください** 火災・感電・故障の原因となることがあります。
禁止	**電源コードおよび電話機コードを熱器具に近付けないでください** コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
禁止	**落下させるほどの強い衝撃を与えないでください**
強制	**移動させる場合は、電源プラグを電源コンセントから抜き、回線コードや電話機コードなど外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください** コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
禁止	**主装置や電話機の開口部をふさがないでください** 開口部をふさぐと、内部の熱が上昇し、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意	
禁止	**電気雑音を発生するものに近い場所に置かないでください** 通話に雑音が入ったり、使用できなくなることがあります。 ＜電気雑音の原因としては＞ ・車やオートバイが近くを通る場合 ・放送局や無線局（アマチュア無線、CB 無線など）の近くで使用する場合 ・テレビ・ラジオ・蛍光灯・OA 機器・電子レンジ・電気コタツなどの近くで使用する場合 ・高周波溶接機・高周波ミシン・電気溶接機・ワイヤカッタなどの工作機械の近くで使用する場合
禁止	**強い磁界の発生源の近くに設置しないでください** 火災・感電・故障の原因となることがあります。
禁止	**火のそばや炎天下などの高温の場所で、充電はしないでください** 高温になると危険を防止する保護装置が働き、充電できなくなったり、保護装置が壊れる原因となります。
強制	**電池パックは、事故防止のため、小さいお子様の手の届かないところに保管してください** 誤飲、感電の原因となります。
強制	**長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず充電器の AC アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜いてください** 発火・故障の原因となります。 主装置については、常時電源を「ON」の状態にしておいても問題ありません。
強制	**AC アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず AC アダプタまたは電源プラグを持って抜いてください** 電源コードを引っ張ると、電源コードが傷つき、火災・感電・断線の原因となることがあります。
禁止	**コードレス電話機のアンテナを持って持ち運んだり、アンテナを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください** 故障の原因となります。
注意	**電話機等の底面には、ゴム製のスベリ止めを使用しています。ゴムとの接触面がまれに変色することがあります**
注意	**コードレス電話機のアンテナをあやまって目にささないようにしてください**
注意	**アンテナなどの突起物を目や口などに入れないようにしてください。特に小さなお子様のいる家庭ではご注意ください**
強制	**充電器をお手入れする際は、安全のため、あらかじめ AC アダプタまたは電源プラグを電源コンセントから抜いてください** 感電の原因となることがあります。
禁止	**充電器の上に指輪、ネックレスなどの金属類を置かないでください** 金属が熱くなり、火災・やけどなどの原因となることがあります。
強制	**充電は周囲温度 5℃～ 35℃の範囲で行ってください** 正常な充電ができなかったり、故障の原因となります。
強制	**お手入れの際は安全のために、本装置の電源スイッチを切ってから電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください**

⚠ 注意	
強制	**水滴がついた場合は、乾いた布でふき取ってください** 本装置および電話機の内部に水滴が入ると、火災・故障の原因となることがあります。
禁止	**表面が熱に弱い家具の上などの表面が熱に弱い場所には、本装置および電話機を置かないでください** 家具等の表面が変色・変形する場合があります。
禁止	**本装置および電話機の上に手をついたり、ものを載せないでください** 火災や故障の原因となります。
禁止	**ぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールおよびシリコン系クリーナなどでふかないでください** 本装置の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、柔らかい布でからぶきしてください。
禁止	**受話器用カールコードやモジュラープラグで差し込まれている電話機コードを強く引っ張らないでください** 故障の原因となることがあります。

IP 回線の特性について

●下記のような場合には、IP 電話サービスの通話品質が劣化したり、通信が切断される場合があります。
- WAN（ブロードバンド）回線の接続状態によって十分な帯域がとれない場合
- インターネットで十分な帯域がとれない場合
- 主装置に接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合

●相手の方からの音声品質がよい場合でも、こちらから相手への音声品質が劣化していることがあります。
- ADSL 回線をご利用の場合は、下りの伝送速度よりも上りの伝送速度のほうが低いため、通話中にインターネット上のサーバへ大きなファイルを送信したり、他拠点との間でファイルを転送することは避けてください。また、LAN 内に、インターネットにアクセスできる Web サーバ、FTP サーバなどを設置しないでください。

SIP 電話機および IP 多機能電話機の特性について

●下記のような場合には、電話機の通話品質が劣化したり、通信が切断される場合があります。
- LAN の接続状態によって、十分な帯域がとれない場合
- LAN に接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合

●相手の方からの音声品質がよい場合でも、こちらから相手への音声品質が劣化していることがあります。

取扱上のお願い / 主装置、電話機、他

停電などの外的要因、あるいは本装置の故障、誤動作、不具合によって通信などの機会を逸したために生じた遺失利益等の金銭的損害につきましては、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください

本装置を人命や、危害に直接的または、間接的に高い安全性が必要とされる環境下では使用しないでください

本装置に登録された内容は故障・修理のときに消失する場合があります

テレビ、ラジオ、無線機、電子レンジ、インバータ形蛍光灯などの磁気、電波を発生する場所や違法無線を受ける場所に設置した場合、ノイズや誤動作を引き起こすことがあります

放送局の近くや違法ＣＢ無線など、強い電波を受ける場所では通話中に雑音が入ることがあります。通話に支障をきたす場合には、販売店にご相談ください

別売品の停電用電源を接続している場合は、電源スイッチが「ON」のままで、電源プラグを抜いたり、配電盤などの電源を切らないでください
バッテリーが放電してしまい、停電時に動作しなくなります。また、バッテリーの寿命を縮める原因となります。

コードレス電話機を設置するときは、親機から約 3m 以上離してください
親機にあまり近い場合は、コードレス電話機が正常に動作しないことがあります。

デジタルコードレス電話機（DC）の側面に取り付けられたゴムキャップを取り外さないでください
ゴムキャップがないまま、ぬれた手で使用すると、故障や感電の原因となります。

コードレス電話機は、防水対応ではありません

寒い戸外から急に暖かい室内にコードレス電話機を持ち込むと、急激な温度変化により、コードレス電話機内部に水滴（結露）がつくことがあります。結露が生じたときは電源を切って、水滴が蒸発するまでしばらく放置しておいてください
結露したままで使用すると、故障の原因となります。

コードレス電話機の通話は盗聴されにくくなっていますが、電波を利用しているため、通常の手段を超えた方法で第三者が故意に通話の内容を傍受する場合があります。この点を十分に留意して使用してください

目 次

安全にお使いいただくために…… i

お使いになる前に xxiv

取扱説明書の見かた…… xxiv
略図の説明…… xxv
本書の構成…… xxvi
構成図…… xxviii
主装置についてのご注意…… xxx

多機能電話機編

第 1 章　電話機の取り扱い 1

1-1 電話機の各部の説明 ……2
各部の名称と説明 ……2
●正面の説明 …… 2
●側面の説明 …… 3
●底面の説明（停電ユニット搭載時の電話機の場合） …… 3
ディスプレイ表示 ……4
●ディスプレイの見かた …… 4
●ディスプレイ画面の例 …… 5
ランプ表示 ……6
音の種類一覧 ……7
システム管理電話機と一般ユーザ電話機 ……7

1-2 電話機の調節 ……8
電話機の角度調節 ……8
電話機のパネル・記入シートの取り付けと取り外し ……9
●多機能電話機 …… 9
●集中受付装置（DSS） …… 9
音量の調節 …… 10
●受話音量を調節する …… 10
●スピーカ受話音量を調節する …… 11
●着信音量を調節する …… 12
●側音量を調節する（側音量調節） …… 13
●ボタンを押したときの音を調節する（ボタン押下音切替） …… 14
ディスプレイ表示の調整 …… 15
●ディスプレイの濃淡を調整する（LCD コントラスト調整） …… 15
●バックライトを設定する（LCD バックライト点灯調整） …… 16

1-3 サービスメニューの使いかた …… 17
サービスメニューに使用するボタンの使いかた …… 17
サービスメニューの構成 …… 18
●一般ユーザ電話機のサービスメニュー …… 18
●システム管理電話機のサービスメニュー …… 19

1-4 文字入力方法 …… 20
●文字入力モードの切り替え …… 20
●文字の入力方法 …… 21

●濁点・半濁点の入力方法 …… 21
●文字入力ボタン一覧 …… 22
●漢字(全角)の入力方法 …… 23
●文字の修正 / 挿入 / 削除方法 …… 24
●カナ(半角)の入力方法 …… 25

1-5 カレンダー / 時計の設定 …… 27
カレンダー / 時計の日時を変更する …… 27

1-6 電話機への機能の登録 …… 28
オートダイヤルボタンに機能や番号を割り付ける …… 28
●オートダイヤルボタンに機能を登録する …… 28
●オートダイヤルボタンへの機能の登録を削除する …… 29
●オートダイヤルボタンに電話帳を登録する(電話帳ワンタッチ割付) …… 30
●オートダイヤルボタンに電話番号を登録する(ワンタッチ割付) …… 31
●オートダイヤルボタンに機能特番を登録する(ワンタッチ割付) …… 32
●オートダイヤルボタンにメールボックスを登録する …… 33
●オートダイヤルボタンに内線 DSS 機能を登録する …… 34
内線名称の登録 …… 35
●内線名称を登録する …… 35
●内線名称の登録を削除する …… 36

1-7 電話帳の登録 …… 37
電話帳に情報を登録する …… 37
●登録先のメモリ番号を指定する …… 38
●相手先の名前を入力する …… 39
●登録する電話帳グループを指定する …… 40
●相手先の電話番号を入力する …… 40
●着信音を選択する(着番号別) …… 41
●着信形式を指定する(共通電話帳のみ) …… 43
●発信付加情報を選択する …… 44
●メモを入力する …… 45
●電話帳を登録する …… 45
●発着信履歴から電話帳に登録する …… 46
電話帳を編集・削除する …… 47
●電話帳を編集する …… 47
●電話帳を削除する …… 48
電話帳グループの登録 …… 49
●電話帳グループの名前を登録する …… 50
●電話帳グループごとに着信ランプの色を切り替える(着信ランプ切替) …… 51

1-8 その他の機能 …… 52
保留音 / 着信音にメロディを設定する …… 52
保留音の設定 …… 54
●保留音を変更する …… 54
着信音色の選択 …… 55
●外線別着信音種を登録する …… 55
●内線別着信音種を登録する …… 57
着信ランプ表示色の設定(着信種別や各種状態別) …… 58

第 2 章　基本的な使いかた　59

2-1 外線にかける …… 60
電話番号をダイヤルしてかける …… 60
●外線ボタンを使ってかける(任意外線発信) …… 60
●発信ボタンを使ってかける(自動選局発信) …… 60
●受話器を上げてダイヤルするだけでかける(オフフック自動外線捕捉) …… 60
最後にかけた相手に再度かける(リダイヤル) …… 61
電話番号を確認してかける(プリセットダイヤル) …… 61
オートダイヤル機能を使ってかける(ワンタッチダイヤル) …… 62

電話帳を使って電話をかける（電話帳発信） …… 63
●電話帳メモリ番号を指定してかける …… 63
●電話帳に登録されている名前を検索してかける …… 65
発信履歴 / 着信履歴から電話する（履歴発信） …… 66

2-2 内線にかける …… 67
内線番号をダイヤルしてかける（内線個別呼出（音声 / 信号）） …… 67
電話番号を確認してかける（内線プリセット発信） …… 68
最後にかけた相手に再度かける（内線リダイヤル） …… 68
発信履歴 / 着信履歴から電話する（内線発着信履歴） …… 69

2-3 外線からの電話を受ける …… 70
外線ボタンを押して受ける（任意外線着信応答） …… 70
受話器を上げるだけで受ける（オフフック外線自動応答） …… 70
DIL/DID 着信に応答する …… 71

2-4 内線からの電話を受ける …… 72
受話器を上げるだけで受ける …… 72
音声呼出に応答する …… 72
受話器を置いたままで音声呼出に応答する（内線ハンズフリー応答） …… 72
同じグループ内の別の電話を受ける（代理応答（コールピックアップ）） …… 73
他のグループの電話を受ける（グループ指定代理応答） …… 73

2-5 通話を保留する …… 74
他の電話機で再応答できるように保留する（システム保留 / パーク保留） …… 75
他の電話機では再応答できないように保留する（自己保留） …… 76

2-6 通話を転送する（手動転送） …… 77
転送先に呼びかけて転送する（口頭転送） …… 77
転送先と通話してから転送する（ダイヤル転送） …… 78
転送先と通話しないで転送する（強制転送） …… 79

第 3 章　便利な使いかた（応用操作） 81

3-1 電話をかけるときの便利な使いかた …… 82
●受話器を上げずにダイヤルする（オンフックダイヤル） …… 82
●受話器を上げるだけでかける（オフフック自動ダイヤル） …… 82
外線にかけるとき …… 83
●指定した回線からかける（指定外線捕捉） …… 83
●指定した方路のうち空いている回線を自動捕捉して発信する（方路選局発信） … 83
●外線へのかけ直しを繰り返す（オートリピート） …… 84
●複数の電話帳メモリ番号を組み合わせて発信する（ネスティングダイヤル） …… 84
●外線発信時に発番号の通知 / 非通知を切り替える …… 86
●指定した番号への発信を規制する（発信禁止番号登録） …… 87
●内線電話機から緊急ダイヤルへ電話をかける（緊急ダイヤル発信） …… 88
内線にかけるとき …… 89
●内線登録したオートダイヤルボタンでかける（内線ワンタッチコール） …… 89
●受話器を置かずに別の内線にかける（リセットコール） …… 89
●指定したグループの内線電話を音声で一斉に呼び出す（内線グループ音声呼出） 90
●指定したグループの内線電話を着信音で一斉に呼び出す（内線 DGL 呼出） …… 91
●内線へのかけ直しを繰り返す（内線オートリピート） …… 92

3-2 電話を受けるときの便利な使いかた …… 93
外線を受けるとき …… 93
●通話中に外線から電話がかかってきたことがわかるようにする（話中着信音） … 93
●外線ごとに着信音を選択する（外線別着信音種指定） …… 94
●外線ごとに鳴動電話機を指定する …… 94
●特定のグループへ着信した電話に応答する（DGL 着信 /MSA 着信） …… 95

3-3 保留 / 転送操作時の便利な使いかた …… 96
●ワンタッチダイヤルボタンで内線に転送する …… 96
●外線からの着信を任意の外線に転送する（公一公接続） …… 97

3-4 通話中の便利な使いかた …… 98
●受話器を置いたままで通話する（ハンズフリー通話） …… 98
●相手の音声をスピーカで聞く（スピーカ受話） …… 99
●通話相手にこちらの音声を聞こえないようにする（送話ミュート） …… 99
●フックフラッシュ信号（フッキング信号）を送る（フックフラッシュ送出） …… 100
●プッシュホン信号を送る（PB エンド・ツー・エンド通信） …… 100

3-5 電話に応答できないときの便利な機能 …… 101
外線からの着信を自動で転送する（外線自動転送） …… 102
●外線自動転送の設定 …… 102
●転送先の電話番号を登録・変更 / 削除する（相手先登録） …… 104
●回線グループの転送設定を外線自動転送モードに登録する（転送先指定） …… 106
●外線自動転送の起動時間を設定する（外線転送起動時間） …… 108
●外線自動転送モードを手動で ON/OFF する …… 108
●外線自動転送モードを自動で ON/OFF するように設定する …… 109
不在時にかかってきた電話を転送する（不在転送） …… 110
●不在転送先を設定する（不在転送設定） …… 110
●不在転送の設定項目 …… 111
●不在 ON/OFF を設定する …… 112
●不在理由を編集する …… 113
●転送先を移動先の内線に変更する（フォロミー） …… 114
一定時間応答しないときに転送する（無応答転送） …… 115
●無応答時に転送されるまでの時間（無応答タイマ）を設定する（個別着信時） … 115
●無応答転送先を設定する（個別着信時） …… 116
●無応答転送の設定項目（個別着信時） …… 117
一定時間応答しないときに転送する（一般系無応答転送） …… 118
●無応答時に転送されるまでの時間（無応答タイマ）を設定する（一般系着信時） 118
●無応答転送の転送先を設定する（一般系着信時） …… 119
●無応答転送の設定項目（一般系着信時） …… 120
圏外の電話機にかかってきた電話を転送する（圏外転送） …… 121
●圏外転送の転送先を設定する …… 121
●圏外転送の設定項目 …… 122

3-6 通話中に着信があったときの便利な機能 …… 123
通話中の着信相手に一時待ってもらう（着信ウェイトメッセージ） …… 123
通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送） …… 124
●話中転送の転送先を設定する …… 124
●話中転送の設定項目 …… 125

3-7 外出先からの便利な機能 …… 126
外出先から設定を変更する（転送リモコン） …… 126
●外出先から会社に電話をかけて転送リモコンを開始する …… 126
●外出先から外線自動転送モードを変更する …… 127
●外出先から不在設定の ON/OFF を切り替える …… 127
●転送リモコン用暗証番号を登録 / 変更する …… 128
外出先から留守番電話機能を利用する（留守リモコン） …… 129
●外出先から会社に電話をかけて留守リモコンを開始する …… 129
●外出先から留守番モードを切り替える …… 130
●外出先から利用 / 切替できる留守番電話機能 …… 131
●留守リモコン用暗証番号を登録 / 変更する …… 132
外出先から電話して各種機能を利用する（付加番号 DID） …… 133
●外出先から直接内線に電話する …… 133
●外出先から直接電話できる着信先 …… 133
外出先から会社のシステムを使って電話をかける（リモートコールバック） … 134
●電話帳グループにリモートコールバック機能を設定する …… 134
●リモートコールバック応答後の電話のかけかた …… 135

3-8 便利な機能設定 …… 136
時間帯により着信形式を切り替える（夜間モード切替） …… 136
●夜間モードを手動で切り替える …… 136
●夜間モードを自動で切り替える …… 137
1 台の電話機に着信させる（集中着信） …… 137
●集中着信モードの ON/OFF を切り替える …… 137
システムカレンダーを利用する …… 138
●システム全体の祝祭日を設定する …… 138
●テナントで使用する休日パターンを指定する …… 140
●自テナントの特定日を変更する …… 141
2 つの機能を 1 つの操作で設定できるようにする（W 機能セット） …… 142
●2 つの機能モードを同時に設定 / 解除する …… 142
電話機のボタン操作をロックする（電話機操作規制（キーロック）） …… 143
●キーロックを設定 / 解除する …… 143
3-9 便利なお知らせ機能 …… 144
応答できなかった着信のお知らせ機能を利用する（不応答着信（個別）お知らせ） 144
FAX に着信があったことを内線電話機で表示する（FAX 着信お知らせ） …… 145
●FAX 着信のお知らせを表示 / 確認する …… 145
●自分の内線電話機で使用する FAX を設定する（内線毎 FAX 指定） …… 146
設定した時刻にアラーム音やチャイム音を鳴らす …… 147
●アラーム時刻を設定 / 解除する（時刻アラーム） …… 147
●チャイム音を鳴らす時刻を設定する（チャイムタイマ連動） …… 148
内線の現在の状態を一覧表示する（内線一覧） …… 149
●内線一覧 / 詳細画面を表示する …… 149
●内線一覧 / 詳細画面から内線を呼び出す …… 150
●内線一覧 / 詳細画面から内線名称を登録 / 削除する …… 150
3-10 電話機使用中に使えるメニュー …… 151
内線捕捉中メニュー …… 151
●内線捕捉状態について …… 152
●内線一覧 …… 152
●応答関係 …… 153
●呼出関係 …… 155
●ドアホンモニタ …… 157
●指定外線捕捉 …… 157
外線通話中メニュー …… 158
●外線通話中にできる操作 …… 159
●共通電話帳 / 個別電話帳を表示・検索する …… 160

第 4 章　その他の便利な機能　163

4-1 便利な機能を使いこなす …… 164
迷惑電話を拒否する …… 164
●着信履歴の電話番号を迷惑電話番号として登録する …… 164
●通話中の相手の電話番号を迷惑電話番号として登録する …… 164
●電話番号を指定して迷惑電話番号として登録する …… 165
●迷惑電話に登録された電話番号を変更する …… 166
3人以上で通話をする（多者通話） …… 167
●会議通話を招集する（会議通話） …… 167
●外線通話中に他者を割り込ませる（外線秘話解除） …… 168
●他者の通話に割り込む（割込通話） …… 168
●他の電話の通話内容を聞く（通話モニタ） …… 169
自分が待機中であることを相手に知らせる …… 170
●相手の操作が終わり次第、着信音を鳴らす（コールウェイティング） …… 170
●他者と通話中の相手にブザー音を鳴らして知らせる（トーンオーバーライド） 171
回線の使用を一時的に制限する …… 172
●外線 / 専用線からの着信を一時的に制限する（回線使用制限） …… 172
●外線の着信音を一時的に鳴らさない（外線着信鳴動拒否） …… 173
●DGL グループ電話機への着信呼数を制限する（DGL 呼数制限） …… 174

4-2 公衆網サービスの利用 …… 175
アナログ外線サービスを利用する …… 175
●ナンバーディスプレイを利用する …… 175
●キャッチホンを利用する …… 176
●モデムダイヤルインを利用する …… 176
●ボイスワープを利用する …… 177
ISDN 外線サービスを利用する …… 178
●INS ナンバーディスプレイを利用する …… 178
●INS ボイスワープを利用する …… 178
●転送元電話番号受信サービスを利用する …… 179
●ｉ・ナンバーを利用する …… 179
●迷惑電話お断りサービスを利用する …… 180
4-3 外部ネットワークとの接続 …… 181
VoIP 外線の各種サービスを利用する …… 181
●IP 電話サービスを利用する …… 181
ルータ機能を利用する …… 182
●LAN インターフェース接続 …… 182
●WAN インターフェース接続 …… 182
SIP 専用線を利用する …… 183
ビハインド接続時の便利な機能 …… 184
●ポーズ信号を自動挿入する（オートポーズ） …… 184
●PBX 外線接続について（ビハインド） …… 184
4-4 インターネット機能の利用 …… 185
インターネット機能を便利に使う …… 185
●コンテンツ情報を電話機に表示する（ですく deRSS） …… 185
●着信履歴をメールで送信する（着信履歴メール送信） …… 186
●外線転送結果をメールで送信する（外線転送メール送信） …… 187
●緊急地震速報を受信する（緊急地震速報） …… 187
4-5 外部機器との接続 …… 188
外部機器を利用する …… 188
●集中受付装置（DSS）/ 状態表示盤（MBD）との接続 …… 188
●構内放送装置との接続 …… 189
●ドアホンとの接続 …… 190
●ヘッドセットとの接続 …… 193
●外部音源との接続 …… 195
●コールスピーカとの接続 …… 195
4-6 停電時の機能と省電力機能 …… 196
停電時の対応機能について …… 196
●停電中に一定時間電話の機能を維持する …… 196
●停電用電話機について …… 196
省エネ機能について（S/M タイプ主装置のみ） …… 197
●省エネモード …… 197
●バッテリーパワーセーブ …… 197
4-7 主装置の設定 …… 198
主装置の各種設定について …… 198
●パソコンの Web ブラウザで Web 設定を利用する …… 198
●主装置の IP アドレスを確認する …… 199
●代行や留守番の応答ガイダンスを録音する（ユーザガイダンス録音） …… 200

第 5 章　ボイスメールの使いかた 203

5-1 お使いになる前に …… 204
ボイスメールのシステム概要 …… 204
ボイスメールシステムを利用する機能 …… 205
ボイスメールの取扱上のご注意 …… 205

ボイスメールの用語と説明 …… 206
ボイスメールで使用するボタン …… 207
メッセージの状態表示 …… 208
ボタンとランプ動作一覧 …… 209

5-2 暗証番号の設定 …… 210
暗証番号を登録する（新規） …… 210
暗証番号を変更する …… 211

5-3 基本的な使いかた …… 212
留守番機能 …… 212
●手動で留守番モードを設定 / 解除する …… 212
●自動で留守番モードを設定 / 解除する（留守番モード自動切替） …… 213
●外出先から留守番モードや留守番機能を設定する …… 213
●留守番録音されたメッセージの有無を確認する（応答録音） …… 213
●留守番起動時間を設定する …… 214
●留守番機能の動作を設定する …… 215
留守番モニタ（居留守応答） …… 218
●留守番モニタ機能を設定する（テナントごと） …… 218
●留守番モニタの状態と表示（居留守応答） …… 219
●留守番電話機を切り替える …… 219
ワンショット留守番 …… 220
●ワンショット留守番の動作を設定する …… 220
●ワンショット留守番機能で応答する …… 221
各種代行機能 …… 222
●不在代行を設定する …… 222
●話中代行を設定する …… 224
●無応答代行を設定する …… 225
●圏外代行を設定する …… 226
●外線着信代行を設定する …… 227
通話録音（通話メモ） …… 228
●通話を録音する …… 228
●自動で通話が録音されるように設定する（自動通話録音） …… 229
メールボックス用電話帳を利用する …… 230
●通話録音の録音先をメールボックス用電話帳で指定する …… 230
●メールボックスへの録音先や転送先をメールボックス用電話帳から指定する 231
メールサービスを利用する …… 232
●メールボックスにログオンする（内線から利用する場合） …… 233
●メールボックスからログオフする …… 234
●メールボックスにログオンする（外線から利用する場合） …… 235
●録音されているメッセージを再生する …… 236
●メッセージ再生中にできる操作と内容 …… 237
●メッセージを削除する …… 238
●録音されているメッセージを他のメールボックスへ転送する …… 239
●ボイスメールシステムの動作条件を設定する …… 240
メールボックスにメッセージを録音する …… 241
●メールボックスにメッセージを録音する（クイックメッセージ録音） …… 241

5-4 便利な使いかた …… 242
メッセージが録音されたことを通知する（メッセージ録音通知） …… 242
●メッセージ録音の通知先と時間帯を設定する …… 242
●メッセージ録音通知の有無を選択する（テナントごと） …… 243
録音メッセージを外部に保存する …… 244
●Web 設定を利用してメッセージを保存 / 削除する
（メッセージ外部保存（手動）） …… 244
●外部 FTP サーバへの自動保存を設定する（メッセージ外部保存（自動）） …… 244

第 6 章　コードレスセット編　245

6-1 お使いになる前に …… 246
略図の説明 …… 246
●カールコードレス電話機（CL）（子機）/Bluetooth コードレス電話機（WSb）（子機） …… 246
各部の名称とはたらき …… 247
●カールコードレス電話機（CL）（子機）/Bluetooth コードレス電話機（WSb）（子機） …… 247
●Bluetooth コードレス電話機（WSb）（充電器） …… 248
●カールコードレス電話機（CL）（親機） …… 248
●Bluetooth コードレス電話機（WSb）（親機） …… 248
ディスプレイ表示 …… 249
●ディスプレイの見かた …… 249
●ディスプレイ画面の例 …… 250
ランプ表示 …… 251
音の種類一覧 …… 251
6-2 使用上のご注意 …… 252
無線に関するご注意 …… 252
●電波に関するご注意 …… 253
●子機が圏外にでると …… 253
電池パックの取り付け …… 254
●電池パックの交換 …… 254
充電と接続のしかた …… 256
●カールコードレス電話機（CL） …… 256
●Bluetooth コードレス電話機（WSb） …… 256
充電端子のお手入れ …… 257
電波の強さ …… 257
電池残量 …… 257
6-3 電話機の調節 …… 258
電話機ディスプレイの表示形式を設定する …… 258
●ディスプレイのコントラストを調整する …… 258
●ディスプレイのバックライトを設定する …… 258
音量を調節する …… 259
●着信音量を調節する …… 259
●受話音量を調節する（ハンドセット受話音量） …… 260
●スピーカ受話音量を調節する …… 261
●ボタン押下音を切り替える …… 261
●話中に別の着信があったときの着信音を設定する …… 262
便利な機能を設定する …… 263
●FAX 内線を設定する …… 263
●ハンズフリー応答を設定する …… 263
●子機サイレントを設定する …… 264
6-4 サービスメニューの使いかた …… 265
サービスメニューの概要 …… 265
オートダイヤルボタンに各種機能を割り付ける …… 266
●オートダイヤルボタンに機能を登録する …… 266
●オートダイヤルボタンへの機能の登録を削除する …… 267
●オートダイヤルボタンにメールボックスを登録する …… 268
●オートダイヤルボタンに内線 DSS 機能を登録する …… 269
●オートダイヤルボタンに電話番号を登録する（ワンタッチ割付） …… 270
●オートダイヤルボタンに電話帳を登録する（電話帳ワンタッチ割付） …… 272

6-5 カールコードレス電話機(CL)の独自機能 …… 273
●カールコードレス電話機(CL)(親機 / 子機)のメニュー操作について …… 273
●カールコードレス電話機(CL)(子機)から(親機)へ通話を切り替える …… 273
●カールコードレス電話機(CL)(親機)から(子機)へ通話を切り替える …… 274

6-6 電話のかけかた …… 275
外線にかける …… 275
●電話をかける(外線発信) …… 275
●最後にかけた相手に再度かける(リダイヤル) …… 275
●電話帳から電話をかける(電話帳発信) …… 276
●オートダイヤル機能を使ってかける(電話帳ワンタッチ / ワンタッチボタン) 278
●発信履歴 / 着信履歴から電話する(履歴発信) …… 278
便利な外線発信機能 …… 279
●外線で会議する(会議通話) …… 279
内線にかける …… 280
●内線番号をダイヤルしてかける(内線発信) …… 280
便利な内線発信機能 …… 280
●続けて別の内線を呼び出す(リセットコール) …… 280
●グループ内の内線電話を一斉に呼び出す(内線グループ音声呼出) …… 281
●構内放送する(構内放送呼出) …… 282
●ドアホンを呼び出す(ドアホン呼出) …… 283

6-7 電話の受けかた …… 284
外線を受ける …… 284
●子機を充電器から上げるだけで外線を受ける …… 284
内線を受ける …… 284
●子機を充電器から上げるだけで内線を受ける …… 284
便利な内線受信機能 …… 285
●代理応答グループ内の別の電話を受ける(代理応答) …… 285
●他の代理応答グループの電話を受ける(グループ指定代理応答) …… 285
●ドアホンからの呼び出しで通話する(ドアホン着信) …… 286

6-8 保留のしかた …… 287
システム保留 …… 287
●システム内の他の電話機でも再応答できるように保留する(システム保留) … 287
自己保留 …… 288
●他の電話機では再応答できないように保留する(自己保留) …… 288
パーク保留 …… 289
●パークグループ内の他の電話機でも再応答できるように保留する(パーク保留) 289

6-9 転送のしかた …… 291
ダイヤル転送 …… 291
●現在通話中の相手を内線通話後に転送する(ダイヤル転送) …… 291
口頭転送 …… 292
●システム保留 / パーク保留した外線を転送する(口頭転送) …… 292
不在転送の設定 …… 293
●不在転送の設定をする …… 293

第 7 章　アナログ電話機編　295

7-1 アナログ電話機の利用 …… 296
アナログ電話機を利用する …… 296
アナログ電話機の基本操作 …… 297
●フッキング操作について …… 297
●特番ダイヤルについて …… 297
アナログ電話機特有の機能について …… 297
●ナンバーディスプレイについて …… 297
●切断信号の送出について …… 297

ファクシミリを利用する …… 298
●FAX を自動受信する（TEL/FAX 自動切替） …… 298
●転送先ファクシミリを指定する（FAX 転送先指定） …… 298
●FAX 着信を手動で転送する …… 299

7-2 電話のかけかた …… 300
外線にかける …… 300
●受話器を上げて電話をかける（自動選局発信） …… 300
●最後にかけた相手に再度かける（リダイヤル） …… 300
●受話器を上げてダイヤルするだけでかける（オフフック自動外線捕捉） …… 300
便利な外線発信機能を利用する …… 301
●電話帳メモリ番号から電話をかける（電話帳発信） …… 301
●外線で会議する（会議通話） …… 301
内線にかける …… 302
●内線番号をダイヤルしてかける（内線発信） …… 302
便利な内線発信機能を利用する …… 302
●グループ内の内線電話を一斉に呼び出す（内線グループ音声呼出） …… 302
●構内放送する（構内放送呼出） …… 303

7-3 電話の受けかた …… 304
外線を受ける …… 304
●受話器を上げて外線を受ける …… 304
内線を受ける …… 304
●受話器を上げて内線を受ける …… 304
便利な受信機能を利用する …… 305
●代理応答グループ内の他の電話を受ける（代理応答） …… 305
●他の代理応答グループの電話を受ける（グループ指定代理応答） …… 305
●通話中に他の電話を受ける（キャッチホン） …… 306
●ドアホンからの呼び出しに応答する（ドアホン着信） …… 306

7-4 保留のしかた …… 307
電話を一時的に保留する …… 307
●外線 / 内線を保留する（一時保留） …… 307
パーク保留機能を利用する …… 308
●外線 / 内線を保留する（パーク保留） …… 308

7-5 転送のしかた …… 309
電話を転送する …… 309
●転送先と通話してから転送する（ダイヤル転送） …… 309
電話を強制的に転送する …… 310
●内線通話をしないで直接外線を転送する（強制転送） …… 310
不在転送を利用する …… 311
●不在転送の設定をする …… 311

第 8 章　デジタルコードレス電話機（DC）編　313

8-1 お使いになる前に …… 314
略図の説明 …… 314
各部の名称とはたらき …… 315
ディスプレイの見かた …… 317
●ディスプレイ画面の例 …… 318
ランプ表示 …… 319
音の種類一覧 …… 319

8-2 使用上のご注意 …… 320
電池パックの取り付け …… 320
●電池パックの交換 …… 320
充電のしかた …… 322
充電端子のお手入れ …… 322

電源を入れる / 電源を切る …… 323
電波の強さ …… 323
電池残量 …… 323
8-3 電話機の調節 …… 324
着信音量を調節する（着信音量調節） …… 324
受話音量を調節する（受話音量調節） …… 324
キー操作時の確認音を設定する（キー押下音）（電話機独自機能） …… 325
ディスプレイのコントラスト調整（電話機独自機能） …… 325
ディスプレイのバックライト点灯調整（電話機独自機能） …… 325
8-4 サービスメニューの使いかた …… 326
サービスメニューの概要 …… 326
オートダイヤルボタンに各種機能を割り付ける …… 327
●オートダイヤルボタンに機能を登録する …… 327
8-5 電話のかけかた …… 328
外線にかける …… 328
●電話をかける（外線発信） …… 328
●最後にかけた相手に再度かける（リダイヤル） …… 328
●電話帳から検索して電話をかける（電話帳発信） …… 329
●発信履歴 / 着信履歴から電話する（履歴発信） …… 330
●電話機独自の発信履歴機能を利用する …… 330
便利な外線発信機能 …… 331
●外線で会議する（会議通話） …… 331
内線にかける …… 332
●内線番号をダイヤルしてかける（内線発信） …… 332
便利な内線発信機能 …… 333
●続けて別の内線を呼び出す（リセットコール） …… 333
●グループ内の内線電話を一斉に呼び出す（内線グループ音声呼出） …… 333
●構内放送する（構内放送呼出） …… 334
●ドアホン呼出 …… 335
8-6 電話の受けかた …… 336
外線を受ける …… 336
●電話機の発信 / 応答ボタンを押して外線を受ける …… 336
内線を受ける …… 336
●電話機の内線ボタンを押して内線を受ける …… 336
便利な内線受信機能 …… 337
●代理応答グループ内の別の電話を受ける（代理応答） …… 337
●他の代理応答グループの電話を受ける（グループ指定代理応答） …… 337
●ドアホンからの呼び出しで通話する（ドアホン着信） …… 338
8-7 保留のしかた …… 339
システム保留 …… 339
●システム内の他の電話機でも再応答できるように保留する（システム保留） … 339
自己保留 …… 340
●他の電話機では再応答できないように保留する（自己保留） …… 340
パーク保留 …… 341
●パークグループ内の他の電話機でも再応答できるように保留する（パーク保留）341
8-8 転送のしかた …… 342
ダイヤル転送 …… 342
●現在通話中の相手を内線通話後に転送する（ダイヤル転送） …… 342
口頭転送 …… 343
●システム保留 / パーク保留した外線を転送する（口頭転送） …… 343
不在転送の設定 …… 344
●不在転送の設定をする …… 344

8-9 電話機独自機能 …… 345
名前を確認してから電話をかける（電話帳機能） …… 345
●ローカル電話帳の登録のしかた …… 345
●かけかた …… 346
●変更のしかた …… 346
●一件削除のしかた …… 347
●全件削除のしかた …… 347
マナーモード …… 347
●マナーモードの設定 …… 347
●マナーモードの解除 …… 347
機能メニューを利用する …… 348
●機能メニューの使いかた …… 348
●自局番号表示 …… 349
●発信モードの確認 …… 349
●発信モードの設定 …… 349
●パスワードロック（キーロック）の設定 / 解除 …… 349
●動作モードの設定 …… 350
●着信音種の設定 …… 351
●リレー着信機能の設定 …… 351
●付加ダイヤルの設定 …… 351
●キーモード設定 …… 352
●ワンタッチダイヤルの設定 …… 352
●電話帳ボタンの設定 …… 353
●電話帳の初期表示設定 …… 353
●パスワードの設定 …… 353
●LCD 表示サイズの設定 …… 354
●圏外警告音の設定 …… 354
●時計の設定 …… 354
●アラームの設定 / 解除 …… 354
●全設定初期化 …… 355
文字入力の方法 …… 356
●文字入力モードの切り替え …… 356
●電話機独自機能で使用する文字一覧 …… 357

付録 A 359

A-1 用語説明 …… 360
A-2 特番一覧 …… 364
A-3 各種機能の初期設定値 …… 367
A-4 登録モード一覧表 …… 368
A-5 機能特番の一覧 …… 369
A-6 メロディー覧 …… 371
A-7 オートダイヤルボタン機能一覧表 …… 372
A-8 メニューショートカット一覧表 …… 377
A-9 機能メニュー一覧表（デジタルコードレス電話機（DC）独自機能）…… 380

付録 B 383

B-1 故障かな？とお考えになる前に …… 384
●機能ランプをリセットするには …… 385
●誤動作防止機能について …… 386

索 引 387

操作早見表 393

多機能電話機

カールコードレス電話機（CL）（子機）/Bluetooth コードレス電話機（WSb）

デジタルコードレス電話機（DC）

デジタルコードレス電話機（UM）

アナログ電話機

IP 多機能電話機

お使いになる前に

取扱説明書の見かた

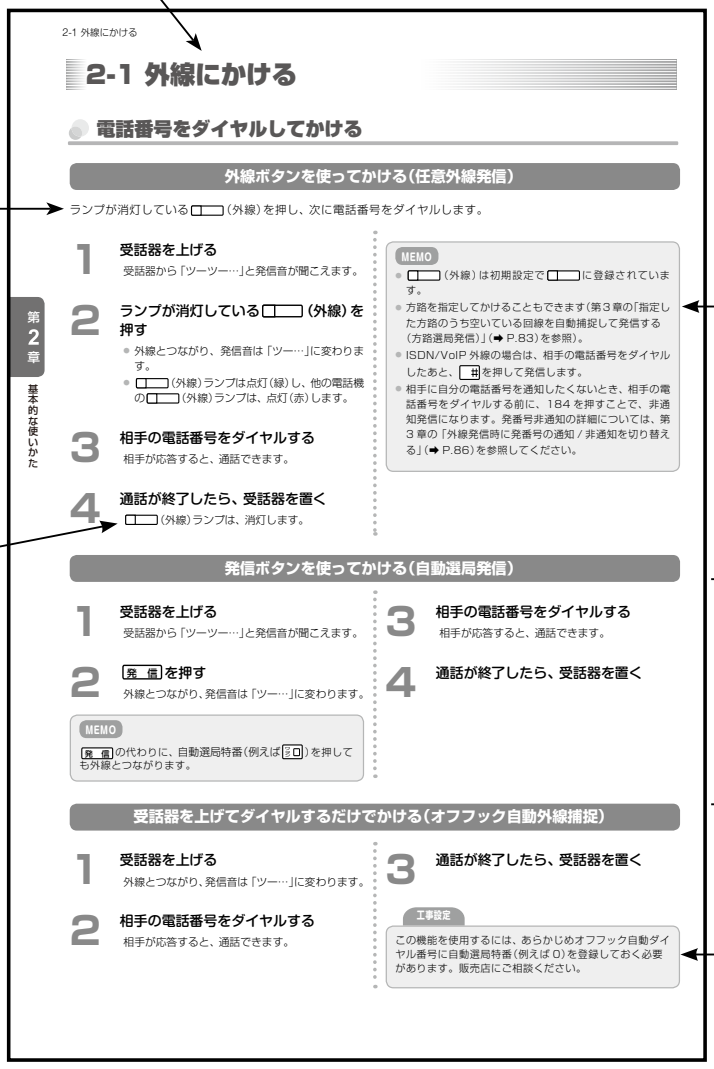
この取扱説明書は次のフォーマットをベースに記載してあります。

見出し
機能を示す見出しタイトルです。

機能概要
機能の内容を簡単に説明しています。

章タイトル

補足説明
操作手順の補足的な内容を説明しています。



MEMO
関連項目や注意点を説明しています。

操作手順説明
操作や表示内容を簡単に説明しています。

工事設定
工事者による設定が必要なため、販売店にご相談いただきたいことを説明しています。

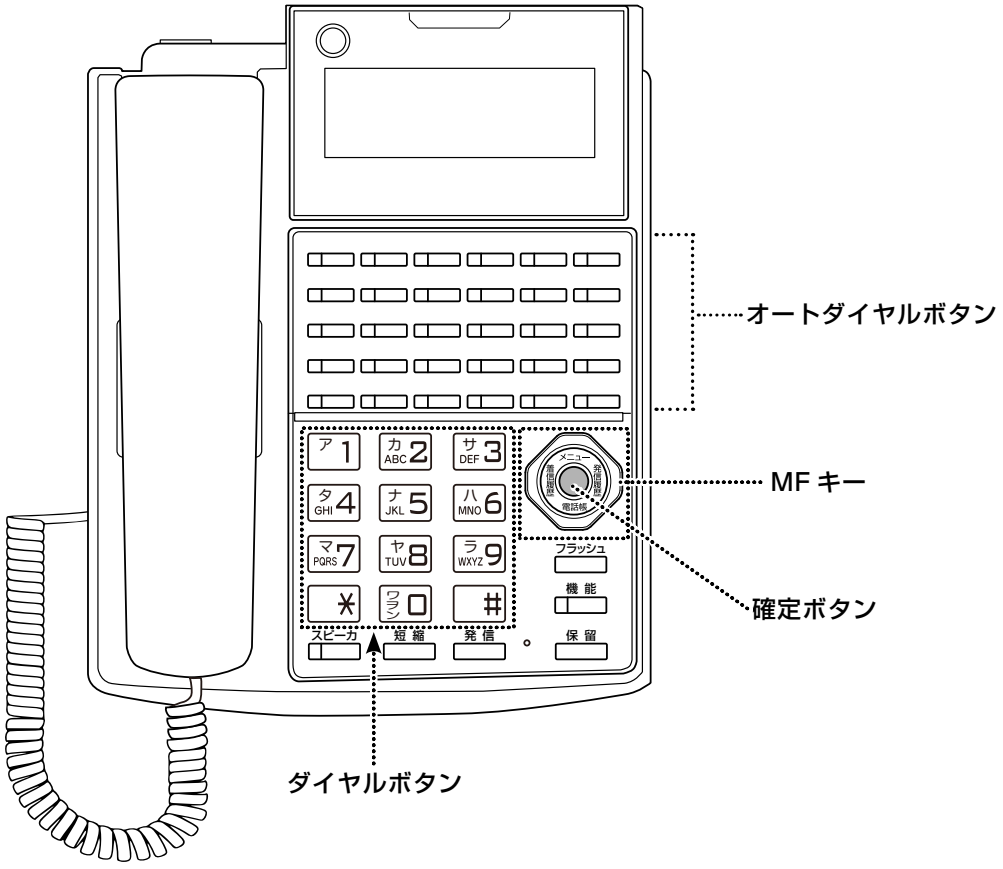
略図の説明

多機能電話機

受話器を置いている状態を基本とします。

略図	説明
ア1 カ2 サ3 タ4 ナ5 ハ6 マ7 ヤ8 ラ9 ワ0 # ＊	ダイヤルボタン
保留 発信 短縮 機能 フラッシュ スピーカ	各機能名称のボタン / ランプ
□□ (XXX)	機能を割り付けられた オートダイヤルボタン / ランプ （XXX は機能名）
確定	MF キーの確定ボタン

略図	説明
	MF キーの上下左右
	MF キーの左
	MF キーの右
	MF キーの上
	MF キーの下



- 各ボタンの操作の詳細やディスプレイの見かたについては、「1-1 電話機の各部の説明」（➡ P.2）を参照してください。

本書の構成

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくための注意事項について、記載してあります。ご使用の前に必ずお読みください。

お使いになる前に（本章）

本書の見かたと多機能電話機編での表記の説明について、まとめてあります。

多機能電話機編

1 章～ 5 章では、多機能電話機の取り扱いと操作手順について説明しています。

第 1 章　電話機の取り扱い

多機能電話機の各部の名称やランプ表示、ディスプレイの見かたなど、本システムをご利用いただく上で必要な予備知識を説明しています。

また、日時や電話機の角度、音量など、電話機の調節のしかたについても説明します。

さらに、電話機のサービスメニューの使いかたや文字入力の方法、電話帳への登録方法についても説明します。

第 2 章　基本的な使いかた

電話のかけかた、受けかた、通話を保留して転送する方法など、多機能電話機の基本的な操作方法を説明しています。

第 3 章　便利な使いかた（応用操作）

電話をかけるときや受けるとき、また通話中などに利用できる便利な機能、夜間や留守中など電話に出られない場合に利用できる便利な機能などを説明しています。

また、外出先から利用できる設定機能や、便利な設定やお知らせ機能、通話中などに電話機から利用できるメニュー操作についても説明します。

第 4 章　その他の便利な機能

会議通話や回線数の制限、公衆網や外部ネットワーク、インターネットとの接続など、さらに便利な機能について説明しています。また、構内放送装置などの外部機器を接続しているときの操作や、停電時の省電力機能、主装置の設定を行える「Web 設定」についても紹介しています。

第 5 章　ボイスメールの使いかた

音声のメッセージを利用できるボイスメールについて、機能と使いかたを説明しています。

留守や不在、通話中などで着信に応答できなかったときに、留守番電話のように代わりに応答してメッセージを録音できるような機能（留守番機能、代行機能）や、通話中の音声を録音できる機能、内線相手がいなかったときに、相手のメールボックスに音声メッセージを録音しておくことができる機能などについても、説明します。

その他の電話機

6 章～ 8 章では、多機能電話機以外の電話機の取り扱いと操作手順について説明しています。

第 6 章　コードレスセット編

カールコードレス電話機（CL）（子機）と Bluetooth コードレス電話機（WSb）（親機・子機）の取り扱いや、各部の名称、ディスプレイの見かた、電話機の音量などの調節のしかたについて説明します。

また、カールコードレス電話機（CL）（子機）と Bluetooth コードレス電話機（WSb）（子機）でのサービスメニューの使いかたや電話のかけかた、受けかた、保留して転送する方法などの基本操作と、不在転送などの便利な機能についても説明しています。

第 7 章　アナログ電話機編

アナログ電話機を使った電話のかけかた、受けかた、保留と転送のしかたについて説明しています。また、アナログ電話機として扱われるファクシミリ（FAX）の接続と利用方法についても説明します。

第 8 章　デジタルコードレス電話機（DC）編

デジタルコードレス電話機（DC）の取り扱いや、各部の名称、ディスプレイの見かた、電話機の音量などの調節のしかたについて説明します。

また、デジタルコードレス電話機（DC）でのサービスメニューの使いかたや電話のかけかた、受けかた、保留して転送する方法などの基本操作と、不在転送や会議通話などの便利な機能についても説明しています。

さらに、デジタルコードレス電話機（DC）の電話機独自の機能メニューや設定、電話機に保存されているローカル電話帳の使いかたについても説明しています。

付録 A

電話の操作で利用できる特番や機能特番、および電話に登録できる機能の一覧などを掲載しています。また、メニューショートカットや登録モード、用語解説などについても、一覧にして掲載しています。

また、特番や機能の初期設定の値のほか、デジタルコードレス電話機（DC）の独自機能で利用する情報なども掲載しています。

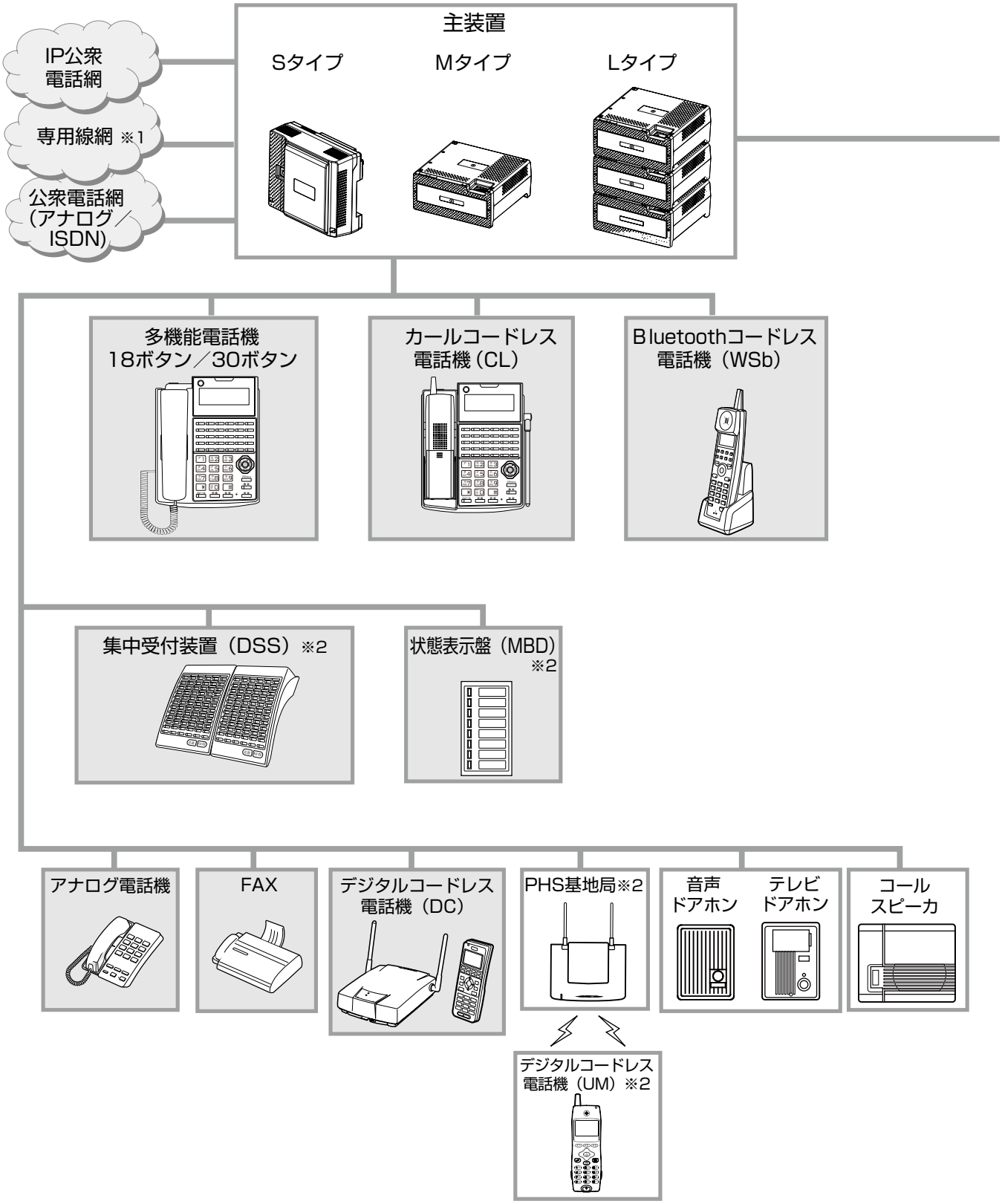
付録 B

電話がかけられなかったり、着信音が鳴らないなど、お困りのときに、故障とお考えになる前にご確認いただきたいことを説明しています。

操作早見表

本システムで利用できる電話機ごとに、電話のかけかたや受けかた、保留・転送などの基本操作が一目で分かるような早見表を掲載しています。

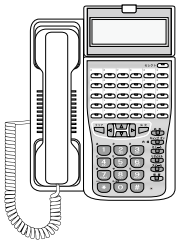
構成図


IP公衆
電話網
専用線網 ※1
公衆電話網
(アナログ／
ISDN)
主装置
Sタイプ
Mタイプ
Lタイプ
多機能電話機
18ボタン／30ボタン
カールコードレス
電話機（CL）
Bluetoothコードレス
電話機（WSb）
集中受付装置（DSS）※2
状態表示盤（MBD）
※2
アナログ電話機
FAX
デジタルコードレス
電話機（DC）
PHS基地局※2
音声
ドアホン
テレビ
ドアホン
コール
スピーカ
デジタルコードレス
電話機（UM）※2

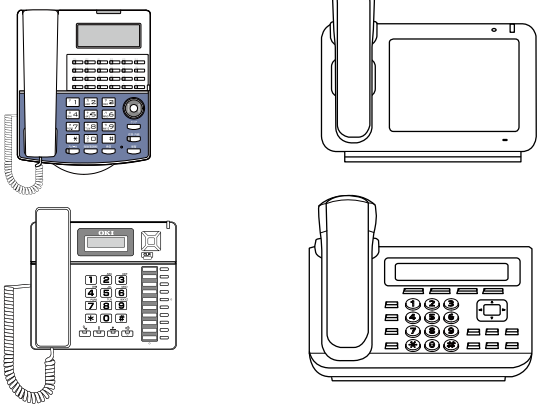
※ 1: アナログ(OD)専用線は、L タイプ主装置でのみ利用できます。SIP 専用線は S/M/L タイプ主装置で利用できます。
※ 2: この端末は、M/L タイプ主装置の場合のみ接続可能です。

本書では、□で囲んだ端末について説明しています。その他の端末については、各端末の取扱説明書を参照してください。

IP多機能電話機

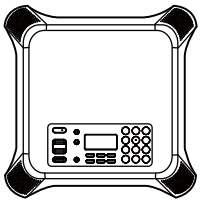


SIP電話機



無線標準SIP電話機

IP音声会議ホン

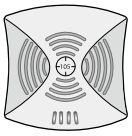


ソフトフォン

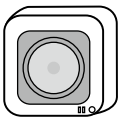
Com@WILLソフトフォン

CTI連携アプリケーション

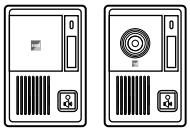
Wifi基地局



ネットワーク
カメラ



IPドアホン
IPカメラドアホン

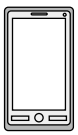


外部ボイス
メール ※2

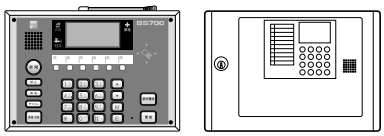
ホテル機能
アダプタ ※2

遠隔保守
アダプタ

スマートフォン



セキュリティ送信機



主装置についてのご注意

主装置の電源を OFF にする前に

長期休暇の前など、主装置の電源を OFF にする場合は、事前に、以下の手順で主装置の設定データ（例えば、登録した電話帳データなど）を保存してから電源を OFF にしてください。
この操作は、多機能電話機（システム管理電話機）で行います。

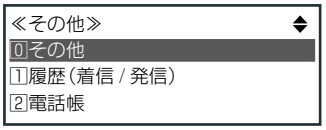
注意

主装置の設定データの保存は、特定の周期ごとに実行されています。主装置の電源を OFF にする前には、必ずデータ保存操作を行ってください。この操作を行わずに電源を OFF にした場合は、設定データ保存周期の間に登録されたデータが消えてしまいます。

1 **待受画面で、確定を押す**

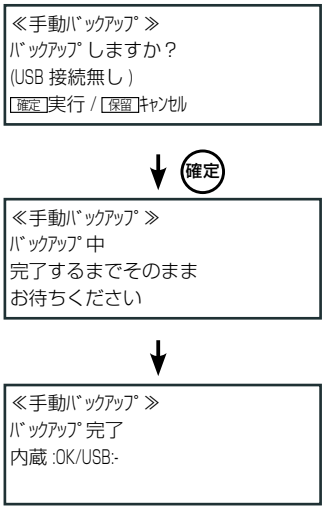
電話機のディスプレイにメインメニューが表示されます。

2 **で［0：その他］を選択して、確定を押す**



3 **で［9：手動バックアップ］を選択して、確定を押す**

4 **確定（実行）を押す**



保留を押すと、「その他」メニューへ戻ります。

バックアップ完了画面が表示されます。

MEMO

USB メモリが接続されている場合は、USB メモリにも設定データが保存されます。USB メモリが接続されているかどうかは電話機のディスプレイの 3 行目に表示されます。

注意

バックアップが終了するまで、電話機での操作はしないようにしてください。バックアップの完了がわからなくなります。